

筑波大学理療科教員養成施設活動報告

施設長	中野 秀樹 (併任：臨床医学系)
助教授	吉川 恵士 宮本 俊和
講師	徳竹 忠司 濱田 淳
文部科学技官	恒松 隆太郎
文部科学技官	神田 聖子
非常勤講師	小林 智子 柴田 稔 菅原 正秋 森山 朝正 森戸 麻美 山口 智
臨床専攻生	片岡 静子 半田 美香子 佐藤 卓弥 福田 みゆき
理療研修生	青木 広光 新井 一宏 池田 明 石井 香 神谷 良孝 杉浦 美貴 田河 大史 西村 博志 新田 育子 堀 雅史 矢野 健太郎

今年度は、以上 28 名のスタッフにより、外来臨床(筑波大学理療科教員養成施設理療臨床部)を運営した。

1. 施設の概要

本施設は、あん摩マッサージ指圧師免許・はり師免許・きゆう師免許の 3 種を有する者を入学資格とし、20 名の学生に 2 年間(88 単位)の教員養成教育を行い、卒業時に盲学校・視力障害センター・専修学校等の鍼灸マッサージ課程の教員免許を与える施設で、教育職員免許法にもとづき文部科学省が指定した教員養成機関である。施設附属の「理療臨床部」を中心として、あん摩マッサージ指圧、鍼灸、物理療法の基礎的・臨床的研究および鍼灸師の卒後臨床教育を行うことを目的としている。

施設スタッフは、教員 5 名、技官 2 名、事務官

3 名で学生教育・卒後臨床教育を担当し、臨床活動・研究活動には、臨床専攻生・理療研修生が加わる。

臨床専攻生は、鍼灸に関する研究指導を受ける者で、大学あるいは本施設卒業生が入学できる。

理療研修生は、鍼灸に関する臨床指導を受ける者で、あん摩マッサージ指圧師免許、はり師免許、きゆう師免許を有する者が入学できる。

2. 入学・就職状況

1) 施設学生入学

①盲学校専攻科卒業見込者を対象とした平成 14 年度推薦入学では、受験者 17 名、合格者 6 名であった。

②一般入学では、受験者 83 名、合格者 18 名であり、盲学校 12 名、専門学校 5 名、視障センター 1 名、男性 12 名・女性 6 名であった。

2) 施設学生就職

本年度卒業予定者は 24 名、教員の求人数は 33 名であり、就職先の内訳は、盲学校 18 名(東北北海道 4 名、関東甲信越 4 名、中部 1 名、近畿 4 名、中国 2 名、四国 1 名、九州沖縄 2 名)、視障センター 1 名、専門学校 4 名であった。

3) 臨床専攻生、理療研修生入学・就職

臨床専攻生入学は、受験者 2 名、合格者 2 名であり、理療研修生は、受験者 7 名、合格者 5 名であった。臨床専攻生 2 名・理療研修生 6 名は進級し、臨床専攻生 2 名、理療研修生 5 名は開業・就職した。

3. 業務

1) 医学専門学群 1 年生 10 名を対象に、医学セミナー「東洋医学入門」2 単位、4 年生 42 名を対象に、アドバンストコース「今日の医療としての東洋医学」について講義・実習を行った。

2) 現職教育の一環として、盲学校理療科教員 116 名を対象に、5 日間「理療臨床実習」をテーマに東京都内において講習会を開催した。

3) 社会人 43 名を対象として、公開講座「健康と東洋医学—家庭でできる手技療法」について講義と実習を行った。

4. 臨床活動

1) 理療臨床部

理療臨床部における診療は、月～金曜日の午前 9 時～午後 5 時(水曜日は、9 時～12 時)であり、全スタッフを 2 グループ(月木班、火金班)で運営

し、指導者2~4人に、学生・専攻生・研修生がついて臨床にあたっている。本年度の理療臨床部の患者数は、初診304名、年間のべ患者数は6,972名である。

2) 共同研究

①筑波大学トレーニングクリニック：臨床医学系教官、体育科学系教官との共同研究により、スポーツ障害の鍼治療の効果、スポーツパフォーマンスに及ぼす鍼治療効果について検討している。

②筑波大学呼吸器内科：気道過敏性に対する鍼刺激の影響に関する研究を行っている。

③順天堂大学泌尿器科：慢性前立腺炎を中心に泌尿器科領域の鍼治療の研究を行っている。

④東京大学麻酔科痛みセンター：慢性疼痛患者に対する低周波鍼通電療法の有用性に関する研究を行っている。

5. 研究活動

◇学会発表

- 1) 近藤宏, 宮本俊和：女子バスケットボール選手のジャンパー膝に対する鍼治療, 全日本鍼灸学会関東甲信越学術大会, 長野, 2002. 11
- 2) 徳竹忠司, 吉川恵士：全身按摩が自律神経機能に及ぼす影響, 第13回日本手技療法学会学術大会, 熱海, 2002. 2
- 3) 徳竹忠司：セミナー基礎と臨床の対話ここまでわかった鍼灸医学—末梢循環に対する鍼灸治療の効果—ヒトにおける基礎的研究のレビュー, 第51回全日本鍼灸学会学術大会, つくば, 2002. 6
- 4) 徳竹忠司：シンポジウム経絡経穴の客観化への道日本東洋医学系物理療法学会, 長野, 2002. 10
- 5) 半田美香子, 徳竹忠士, 宮本俊和：指サックの刺鍼手技に与える影響, 第51回全日本鍼灸学会学術大会, つくば, 2002. 6
- 6) 宮本俊和：臨床スポーツ鍼灸, 第51回全日本鍼灸学会学術大会, つくば, 2002. 6
- 7) 宮本俊和：ワークショップI「各国の鍼灸安全性ガイドラインの現状」, 第51回全日本鍼灸学会学術大会, つくば, 2002. 6
- 8) 宮本俊和, 大岡茂, 堀雅史, 青木宏光, 白木仁：スポーツ外傷・障害に対する鍼治療の利用状況, 日本健康科学学会第18回学術大会, つくば, 2002. 10
- 9) 森戸麻美, 菅原正秋, 吉川恵士：皮下結合組織への鍼通電刺激が指尖容積脈波におよぼす影響-アトピー性皮膚炎患者についての検討, 第51回全日本鍼灸学会学術大会, つくば, 2002. 6

- 10) 吉川恵士：シンポジウム運動器疾患に対する鍼灸治療局所治療の立場から, 第51回全日本鍼灸学会学術大会, つくば, 2002. 6

◇原著

- 1) 丹沢章八, 吉川恵士他：鍼灸等臨床教育におけるOSCEの導入に関する研究, 平成13年度専修学校職業教育高度化開発研究委託中間事業実績報告書, 2002
- 2) 寺田和史, 和田恒彦, 宮本俊和：鍼治療に対するイメージおよび受療態度変容プログラムの適用, 全日本鍼灸学会雑誌, 52(2), 115~122, 2002
- 3) 徳竹忠司, 吉川恵士：全身按摩が自律神経機能に及ぼす影響, 日本手技療法学会雑誌, 13(1), 34~36, 2002

◇症例報告

- 1) 池藤仁美, 吉川恵士他：下肢のしびれに対する鍼治療の1症例, 東洋医学系物理療法学会誌, 26, 44~47, 2002
- 2) 徳竹忠司：間欠跛行を主症状とする腰下肢痛の一症例, 現代鍼灸学, 2(1), 55~58, 2002

◇著書

- 1) 鈴木太, 吉川恵士, 後藤修司他：あはき国家試験出題基準, 東洋療法研修試験財団, 2002. 3
- 2) 徳竹忠司：医療と社会, 全国盲学校校長会編, 医道の日本社, 2002. 4
- 3) 徳竹忠司：日本理療科教員連盟五十年史分担, 「理療科教員養成制度の変遷」, 日本理療科教員連盟編, 2002. 12
- 4) 濱田淳：日本理療科教員連盟五十年史分担, 「学術部・教育研究部」, 日本理療科教員連盟編, 2002. 12
- 5) 吉川恵士：手技療法, 点字毎日コンパクトシリーズ, 毎日新聞社点字毎日, 2002. 10
- 6) 吉川恵士：日本理療科教員連盟五十年史分担, 「改訂あはき教育ガイドラインおよびあはき国家試験出題基準の出版について」, 日本理療科教員連盟編, 2002. 12
- 7) 吉川恵士：日本理療科教員連盟五十年史分担, 「理療教科用標準図書編纂委員会」, 日本理療科教員連盟編, 2002. 12
- 8) 盲学校理療科教科用図書編纂委員会編：保健理療科用教科書全11分冊, 編集責任：皆川春雄, 吉川恵士, 2002. 3
- 9) 盲学校理療科教科用図書編纂委員会編：理療科用教科書全12分冊, 編集責任：皆川春雄,

吉川恵士, 2002. 3

◇総説 その他

- 1) 濱田淳, 小林裕子: FACT 誌収載[鍼灸関係論文]20 鍼は精神的負荷時の血圧上昇を防ぐ, 医道の日本, 61(10), 53~55, 2002
- 2) 宮本俊和: <特集>陸上競技の傷害に対する鍼灸治療②肉離れの鍼灸治療とリハビリテーション, 医道の日本, 61(8), 15~19, 2002
- 3) 宮本俊和: 日本の「鍼灸治療における感染防止の指針」, 全日本鍼灸学会研究部安全性委員会, 各国の鍼灸安全性ガイドラインの現状, 全日本鍼灸学会雑誌, 52(5), 509~528, 2002
- 4) 向井直樹, 朝日山一男, 花房史夫, 宮本俊和: <座談会>疾患別治療特集 陸上競技(中長距離)の傷害に対する鍼灸治療の可能性を探る, 医道の日本, 61(7), 9~28, 2002
- 5) 吉川恵士: カラダにやさしいリフレッシュ法—肩と首のこりに効くツボ秋の健康, 社会保険出版社, 2002. 1
- 6) 吉川恵士: カラダにやさしいリフレッシュ法—腰痛に効くツボ冬の健康, 社会保険出版社, 2002. 1
- 7) 吉川恵士: 医学を補うマッサージの実際シリーズ相補代替療法, 第4回「手技療法」, 毎日ライフ, 2002. 9
- 8) 吉川恵士: 家庭療法健康 24 時, 電子と医学, 日本電子治療器学会誌,
 - ①顔面神経麻痺, 425 号, 2002. 2
 - ②アレルギー性鼻炎, 426 号, 2002. 3
 - ③気管支喘息, 427 号, 2002. 4
 - ④アトピー性皮膚炎, 428 号, 2002. 5
 - ⑤目まい・立ちくらみ, 429 号, 2002. 6
 - ⑥耳鳴り, 430 号, 2002. 7
 - ⑦胃腸の調子が悪い, 431 号, 2002. 8
 - ⑧便秘, 432 号, 2002. 9
 - ⑨月経痛, 433 号, 2002. 10
 - ⑩腰痛, 434 号, 2002. 11
 - ⑪坐骨神経痛, 435 号, 2002. 12

◇講 演

- 1) 宮本俊和: 足関節捻挫と肉離れ, NPO 全国鍼灸マッサージ師会, 茨城, 2002. 4
- 2) 宮本俊和: 腰痛に対する鍼灸治療, 現代医療鍼灸臨床研究会, 東京, 2002. 4
- 3) 宮本俊和: 肩関節のスポーツ障害, NPO 全国鍼灸マッサージ師会, 茨城, 2002. 8
- 4) 宮本俊和: 膝痛の鍼灸マッサージ, 兵庫県鍼灸マッサージ師会, 兵庫, 2002. 8
- 5) 宮本俊和: 頸部・上肢の検査とカルテの記載法,

川崎鍼灸マッサージ師会, 神奈川, 2002. 9

- 6) 宮本俊和: 腰・下肢の検査とカルテの記載法, 神奈川, 鍼灸マッサージ師会, 神奈川, 2002. 10
- 7) 宮本俊和: 腰部の症状に対する鍼灸治療, スポーツセラピー—NIIGATA, 2002. 12
- 8) 吉川恵士: 低周波鍼通電療法の臨床応用, 埼玉県鍼灸マッサージ師会第4回学術大会, 2002. 1
- 9) 吉川恵士: 3療の技術向上をめざして—低周波鍼通電療法の基礎と臨床, 宮崎県立盲学校同窓会理療研修会, 2002. 3
- 10) 吉川恵士: 低周波鍼通電療法の基礎と臨床, 宮崎県鍼灸マッサージ師会学術講演会, 2002. 3
- 11) 吉川恵士: 低周波鍼通電療法の臨床応用—首・肩のこりと痛み—, 高崎市視覚障害者学術講習会, 2002. 9
- 12) 吉川恵士: 疲労回復のための全身指圧法, ベトナムホーチミン市グエンディンチューウ盲学校特別講習会, 2002. 8
- 13) 吉川恵士: 血圧症に対する手技療法の実際, ベトナムダナン市グエンディンチューウ盲学校特別講習会
- 14) 吉川恵士: 首・肩の痛みに対する筋ストレッチングと低周波鍼通電療法について, 東京都鍼灸マッサージ師会城北ブロック平成14年度学術大会
- 15) 吉川恵士: 首・肩のこりと痛みの診察法と低周波鍼通電療法について, 青森県立青森盲学校平成14年度特別講演会
- 16) 吉川恵士: 盲学校理療科における人体の構造と機能の取扱いについて, 平成14年度中四国盲学校教育研究大会理療分科会指導助言
- 17) 吉川恵士: 専攻科理療科における生理学の取扱いについて, 長野県松本盲学校初任者研究発表会指導助言
- 18) 吉川恵士: 低周波鍼通電療法の基礎と臨床, 福岡県立福岡高等盲学校研修科特別講義
- 19) 吉川恵士: 膝痛に対する低周波鍼通電療法の臨床, 日本東洋医学系物理療法学会教育講演および実技講習会, 2002. 10
- 20) 吉川恵士: 保健理療科における人体の構造と機能の取扱いについて, 長野県長野盲学校研究授業指導助言
- 21) 吉川恵士: 内臓器疾患に対する低周波鍼通電療法の実際, 香川県鍼灸マッサージ師会平成14年度学術大会
- 22) 吉川恵士: 低周波鍼通電療法の臨床応用—腰痛を中心として—国際鍼灸専門学校同窓会

平成 14 年度特別講演会

- 23) 吉川恵士：内臓器疾患に対する低周波鍼通電療法，東洋医学技術教育振興財団同窓会平成 14 年度特別講演会

6. 社会活動

- 1) 視覚障害あはき師を対象としたテープ雑誌、ラジオ放送等を通じて、医学および鍼灸医学の現状について情報提供を行った。
- 2) 本学医学専門学群 1・4 年生を対象とした東洋医学ゼミで、鍼灸、手技療法について講

理療法・鍼灸に関する授業を担当した。

- 5) 鍼灸師の卒後教育課程における臨床指導を担当した。
- 6) アジア地域の視覚障害者の職業自立のための、マッサージ教育に関連し、現地（ベトナム、マレーシア）での教育を担当し、またアジア全体の支援体制（センター構想、教育課程）づくりに参画している。
- 7) あはき国家試験の出題基準作成のための委員会のまとめを担当した。
- 8) あはき教育推進のための学会創設に参画した。

義実習した。

- 3) 本学学生の一般科目として、約 40 名を対象として、鍼灸マッサージについて講義した。
- 4) 本学人大学院スポーツ医学専攻において、物